

# 令和元年度

## 事業報告書

本協議会は、長年にわたり被爆者や市民の健康管理に取り組んできており、令和元年度も引き続き、1)「被爆者の健康診断・健康管理事業」、「被爆者の健康管理に関する調査研究事業」、「被爆者の援護福祉事業」、2)「市民の健康診断・健康管理事業」、3)「検査・診療事業」、4)「人間ドック健診事業」、5) 広島市の指定管理者として本協議会が入居している「広島市健康づくりセンターの管理運営事業」等を行った。

また、受診者減少をふまえて、正職員の削減（医師等を除き退職不補充）等を実施した。

### 1 被爆者の健康診断・健康管理事業（公益事業1）

#### (1) 健康診断の実施

##### ① 受診件数

##### (一般検査)

ア 健康づくりセンター	4,886件 ((内)休日(注1)141件)
イ 公民館等での出張健診	8,125件 (会場数385か所(注2))
計	13,011件

##### (がん検診等) (注3)

ア 健康づくりセンター	14,621件 ((内)休日(注1)299件)
イ 公民館等での出張検診	13,739件
計	28,360件

(注1) 第2・第4・第5の土曜日及び第1・第3の日曜日に実施。(婦人科(乳がん、子宮がん)検診は第3の日曜日のみ実施。)

(注2) 単独215会場、住民健診と合同170会場。

(注3) 5大がん(胃、肺、乳、子宮、大腸)、多発性骨髄腫、骨粗鬆症検診の合計。

② 出張健診において、廃止等した会場については、被爆者の高齢化等をふまえ、引き続き最寄りのバス停から近くの会場まで送迎を実施した。(送迎者数150人)

③ 被爆二世健康診断は、引き続き、受診の予約を市経由でなく、本協議会が直接受ける方法により、広島市健康づくりセンター及び出張健診会場で実施した。

##### (受診件数)

ア 健康づくりセンター	2,131件
イ 公民館等での出張健診	18件
計	2,149件

- ④ 「ひろしま市民と市政」(毎月1日号、15日号)において、直近の出張健診の日程のPR等を行った。

(参考) 検査別件数 (単位:件)

区 分		計 画	実 施 数	
被 爆 者	一 般 検 査	13,400	13,011	
	精 密 検 査	13,400	13,032	
	胃がん検診	X 線	1,100	978
		内視鏡	600	561
	肺 が ん 検 診	7,400	7,194	
	乳 が ん 検 診	1,400	1,451	
	子 宮 が ん 検 診	900	1,043	
	大 腸 が ん 検 診	5,200	5,130	
	多発性骨髄腫検診	9,000	8,922	
	骨粗鬆症検診	3,100	3,081	
被爆二世健康診断(※)		2,200	2,149	
合 計		57,700	56,552 (計画件数の98.0%)	

(※) 被爆二世健康診断は受診者数で表示

## (2) 健康管理の推進

被爆者の高齢化を考慮し、次の事項を重点に取り組んだ。

### ① 悪性新生物の早期発見

広島大学大学院医歯薬保健学研究院、同原爆放射線医科学研究所、(公財)放射線影響研究所等の協力を得て、胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん・大腸がん・多発性骨髄腫等の悪性新生物の早期発見に努めた。

### ② 生活習慣病及び高齢者に多い疾患の早期発見と指導

糖尿病・動脈硬化症・高血圧等の生活習慣病及び骨粗鬆症、サルコペニア(※)、認知症等の早期発見に努めるとともに、保健指導、栄養指導、運動指導を行った。

(※) 進行性及び全身性の骨格筋量および骨格筋力の低下を特徴とする症候群。

## (3) 健康診断医療機器等の整備

検査機器の老朽化、検査ニーズの充実に対応するため、次の機器を更新・整備した。

- ① 解析付心電計更新 (230万円)
- ② 超音波骨密度測定装置更新 (200万円)
- ③ 上部内視鏡スコープ増設 (340万円)
- ④ 画像参照用ビューワー 6台更新 (470万円)

(4) 被爆者健康管理資料の作成等

受診者の健診資料（健康診断個人票・がん症例報告等）を集計して、概要を本協議会の事業概要やホームページに掲載した。

また、調査研究資料として活用できるよう整理・保存した。

- ・ 健康診断個人票 74,669 件

(5) 黒い雨体験者相談・支援事業の補助

国の黒い雨体験者に対する相談・支援事業を広島県、広島市の委託を受けて実施した。

- ・ 相談会 8 会場、相談者 42 人（(内) 市外分 1 会場、相談者 7 人）

## 2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業（公益事業 1）

(1) 調査研究の継続実施

本協議会での検診データを活用して、被爆者の糖代謝に関する研究、睡眠の量および質と各種疾患についての横断ならびに縦断調査等、平成 29 年度以前に実施したものに加えて、平成 30 年度に新たに着手した次の 6 項目の研究を引き続き実施した。

また、適宜、それまでの成果等を原子爆弾後障害研究会、関係学会や医学雑誌、会報等で発表した。

- ① 加熱式タバコが喫煙に関連した自覚症状にもたらす影響についての検討
- ② 健診結果に基づく癌と生活習慣病に関する横断ならびに後向きコホート調査
- ③ 高齢者における血清 NT-proBNP 値の意義についての観察研究
- ④ 高齢者における心血管危険因子と予後についての前向き観察研究
- ⑤ 中高年者における非空腹時脂質値に関する横断ならびに後向きコホート調査
- ⑥ 糖代謝異常症例における心血管危険因子と予後の検討

(2) 文献の収集

原子爆弾後障害に関する医学論文及び原爆関係図書等の資料を収集し、その活用を図った。（令和 2 年 3 月 31 日現在の蔵書数 1,038 点）

(3) 第 60 回原子爆弾後障害研究会での発表

令和元年 6 月 2 日（日）、広島国際会議場で開催された「第 60 回原子爆弾後障害研究会」を、（公財）放射線影響研究所、広島大学原爆放射線医科学研究所と共同で開催し、本協議会医師がシンポジウム及び一般演題 2 題を発表した。

◎ シンポジウム

「広島原爆障害対策協議会 平成 30 年間の歩みと「転換期」を迎えた現在の取組」  
—前田 亮 健康管理・増進センター所長

◎ 一般演題

「被爆者健診における生活習慣病：1997年度、2007年度、2017年度の比較から」

－佐々木 伸夫 精密健診科部長 ほか

「被爆者がん検診：この20年の変遷」

－大崎 慶子 一般健診科医師 ほか

### 3 被爆者の援護福祉事業 (公益事業2)

(1) 被爆者相談の実施

広島市の協力の下、被爆者相談を行った。

区 分	件数(件)
生活・福祉相談	90
健康・医療相談	19
原爆関係諸制度	54
被爆者の子の相談	51
その他	19
計	233

(2) 援護措置の実施

本協議会独自で次の援護措置を行った。

援護措置区分	件数(件)
生活困窮者援護金	0
被爆身障者等見舞金	19
福祉用具利用補助	253
計	272

#### 4 市民の健康診断・健康管理事業（公益事業1）

##### （1）高齢者医療確保法に基づく健康診査等※（広島市委託分）の実施

###### ① 受診件数

ア 健康づくりセンター	10,622 件（(内)休日(注1)784 件）
イ 公民館等での出張健診	4,231 件（会場数 223 か所(注2)）
計	14,853 件 ※

（※）医療保険未加入者分(268 件)及び被用者保険加入者分(1,345 件)を含む。

（注1）第2・第4・第5の土曜日及び第1・第3の日曜日に実施。

（注2）単独 53 会場。

被爆者健診と合同 170 会場（(内) 102 会場は胃がん検診も実施。）

###### ② 特定保健指導

（指導件数）

動機付け	425 件
積極的	210 件
計	635 件（(内)受診日から開始 631 件）

##### （2）健康増進法に基づくがん検診等※（広島市委託分）の実施

###### ① 受診件数

ア 健康づくりセンター	48,187 件（(内)休日(注1)3,902 件）
イ 公民館等での出張検診	28,083 件（会場数 459 か所(注2)）
計	76,270 件

（※）胃がん・肺がん・乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診（以上、5 大がん）、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検査の合計。

（注1）第2・第4・第5の土曜日と、第1・第3の日曜日に実施。（婦人科（乳がん、子宮がん）検診は第3の日曜日のみ実施。）

（注2）単独 308 会場。

151 会場は健康診査等と合同。（(内)54 会場は5 大がんも実施。受診件数 11,674 件）

###### ② 医療機関からの依頼による胃カメラ検診の二重読影を行った。（1,381 件）

##### （3）感染症法に基づく結核健康診断（広島市委託分）の実施

（受診件数）（上記(2)の肺がん検診受診者数を含む。）

ア 健康づくりセンター	9,077 件
イ 公民館等での出張健診	6,183 件
計	15,260 件（(内)単独受診分 21 件）

(4) 後期高齢者に対する健康診査（広島市委託分）の実施

（受診件数）

ア 健康づくりセンター	3,003 件
イ 公民館等での出張健診	2,337 件
計	5,340 件

(5) 健康管理資料の保管

精密検査実施者については、前後の検診データ（カルテ、心電図等）を含めて個人ごとにファイル化して（電子データはシステム内で）保管した。

- ・ ファイル数 61,737 人分（令和元年度末現在）

（参考） 検査別件数

（単位：件）

区 分		計 画		実 施 数	
特 定 健 康 診 査		14,950		14,853	
特 定 保 健 指 導		743		635	
胃 がん 検 診	X 線	10,300	75,400	10,187	76,270
	内視鏡	2,700		2,607	
肺 がん 検 診		22,200		22,790	
乳 がん 検 診（※1）		7,100		8,208	
子 宮 頸 がん 検 診（※1）		5,800		6,627	
大 腸 がん 検 診		17,500		17,849	
骨 粗 鬆 症 検 診		4,000		3,455	
肝 炎 ウ イ ル ス 検 査（※2）		5,800		4,547	
結 核 健 康 診 断		15,000		15,260	
後 期 高 齢 者 に 対 す る 健 康 診 査		4,900		5,340	
合 計		110,993	112,358 (計画件数の 101.2%)		

（※1）市の無料クーポン（女性特有のがん検診推進事業）分を含む。

乳がん検診 356 人、子宮頸がん検診 23 人

（※2）県の肝炎ウイルス検査（57 件）を含む。

## 5 広島市健康づくりセンターの管理運営事業（公益事業3）

平成30年4月から4年間引き続き広島市から指定管理者の指定を受け、協定書等に基づき広島市健康づくりセンターの維持管理及び健康教育事業並びに子育て支援事業を行ったが、令和2年2月29日以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館となった。

（参考）協定書等に基づく事業の概要

### （1）健康教育事業

健康科学館年間 入館者数 53,807 人（計画：52,400 人）

- ① 健康科学展示施設の運営  
（内）企画展 年 3 回 延 255 日 企画展観覧者数 32,496 人
- ② 健康ライブラリーの運営  
図書及びビデオを利用した学習の場の提供（利用者 1,771 人）
- ③ 健康に関する研修等の実施  
年 65 回 参加者 3,981 人
- ④ ボランティア（ヘルスサポーター）に対する研修会  
年 11 回（ボランティア養成講座 7 回を含む）
  - ・ サポーター登録数（令和2年3月1日時点 106 人）
  - ・ 活動実績 411 回（延 913 人）
- ⑤ 健康に関する情報の収集・提供  
身近な健康情報をとりまとめてインターネットで提供。

### （2）子育て支援事業

- ① ファミリー・サポート・センター事業（注）臨時休館後も実施
  - ・ 会員数 4,183 人（提供会員 533 人、依頼会員 3,585 人、両方 65 人）
  - ・ マッチング件数 1,210 件
  - ・ 提供会員希望者への講習会（援助活動に必要な知識の普及） 年 1 回（注）保育施設への送迎や保育時間以外の自宅等での預かり等の子育てを援助支援する人（提供会員）の育成や、そのような援助を受ける人（依頼会員）とのマッチング等を実施する事業。
- ② つどいの広場事業（注）
  - ・ 利用者数 20,465 人（大人 10,227 人 乳幼児・幼児 10,238 人）
  - ・ 子育て等に関する講習会の開催 年 20 回（注）乳幼児と保護者が、他の子どもや保護者と一緒に遊んだり、保護者同士の情報交換等の場を提供するとともに、子育て等の情報提供、講演会、ボランティアによる育児相談を実施する事業。
- ③ パパとママの育児教室の開催（注）
  - ・ 年 31 回 参加者 1,946 人（注）第 1 子妊娠中の夫婦を対象に、助産師によるアドバイスやオムツ交換実習等を実施する事業。

## 6 検査診療及び人間ドック健診等の事業 (収益事業)

### (1) 検査診療事業

本協議会の健診等において、悪性疾患等が疑われた者に、確定診断等のための詳細な検査（CT・MRI・内視鏡・超音波検査等）を行った。（治療が必要な場合には、本人の希望に応じて外部医療機関に紹介した。）

また、広島市医師会員からの依頼に基づき生体検査（CT・MRI・超音波検査等）を行った。

（主な検査件数）

- ・ CT 1,435件（(内)医師会員依頼605件）
- ・ MRI 1,514件（(内)医師会員依頼646件）
- ・ エコー（腹部、心臓等） 7,722件（(内)医師会員依頼82件）

### (2) 人間ドック健診等の事業

① 人間ドック健診、生活習慣病予防健診、事業所健診等及びその結果に基づく運動、栄養指導を行った。また、メンタル面での健診メニューとしてストレスチェックを行った。

（単位：件）

区 分	計 画	実施数
人 間 ド ッ ク 健 診	1,937	1,946
生 活 習 慣 病 予 防 健 診 （ 協 会 け ん ぽ ）	3,247	3,367
事 業 所 健 診	3,321	3,550
ス ト レ ス チ ェ ッ ク	800	763
計	9,305	9,626 (計画件数の103.5%)

② 管理栄養士・健康運動指導士が、健診結果等に基づき、受診者一人ひとりに適した運動・栄養について指導・助言を行った。

（単位：件）

区 分	計 画	実施数
栄 養 ・ 運 動 サ ポ ー ト	221	197
健 康 サ ポ ー ト	71	63
計	292	260 (計画件数の89.0%)



(3) 軽度認知症等の早期発見の見地から、あたまの健康チェック等を行った。

(単位：件)

区 分	計 画	実施数
あたまの健康チェック (早期認知機能低下の早期発見)	100	174
ロコモチェック (運動機能低下の早期発見)	100	30
計	200	204 (計画件数の102%)

## 7 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

(1) 放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

「放射線被曝者医療国際協力推進協議会（H I C A R E）」の主要推進団体として、被曝者医療を学ぶために来日した外国の研修生を受け入れた。

- ・ 受け入れ実績 6回 延29人

(2) 来日被曝者の健康診断、医療相談等の実施

来日した被曝者の健康診断及び医療相談、被曝者手帳の取得に必要な手続きの相談などを実施した。

- ・ 相談者数 9人

## 8 事業報告の附属明細書

記載すべき事項はありません。